

SCD遺伝子型頻度

地域	頭数	遺伝子型の頻度	
		A型	V型
庄原生まれかつ3代祖に広島県有種雄牛が存在する和牛	101	0.74	0.26
A	38	0.67	0.33
B	38	0.51	0.49
C	36	0.51	0.49
D	39	0.54	0.46
E	40	0.19	0.81
F	17	0.65	0.35
G	45	0.78	0.22

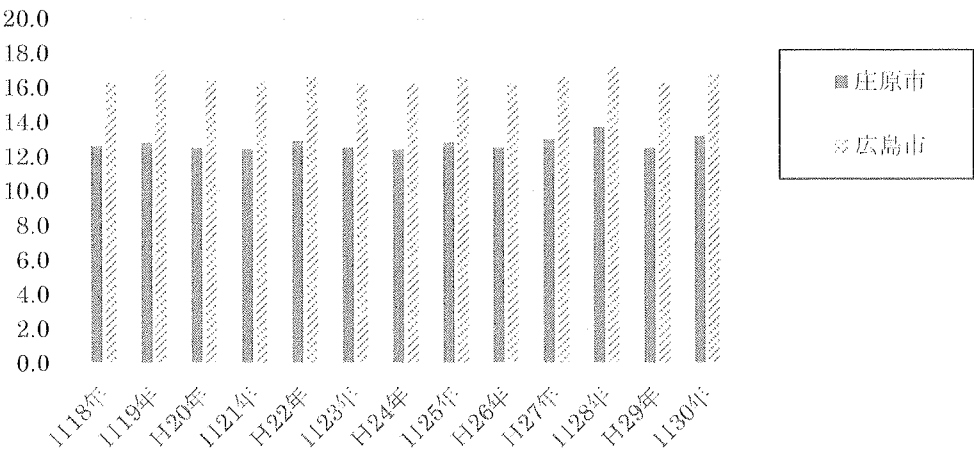
庄原生まれかつ3代祖に広島県有種雄牛が存在する和牛: 広島県立総合技術研究所調べ
A～G: 関西畜産学会報 第164号より引用

上記表からの考察

- ・和牛肉では、「不飽和脂肪酸割合」が高いほど、脂質の良い肉とされ、口溶けや風味が良くなることが知られている。
- ・黒毛和種はSCD (stearoyl-CoA desaturase) 遺伝子について、AA型・AV型、VV型のどれかを持つが、A型を持つほど、不飽和脂肪酸割合は高くなる。
- ・比婆牛は、他の地域と比較してA型を持つ頻度が高く、不飽和脂肪酸割合について、遺伝的に高い能力を持つ。

広島県内の北部と南部における気温差

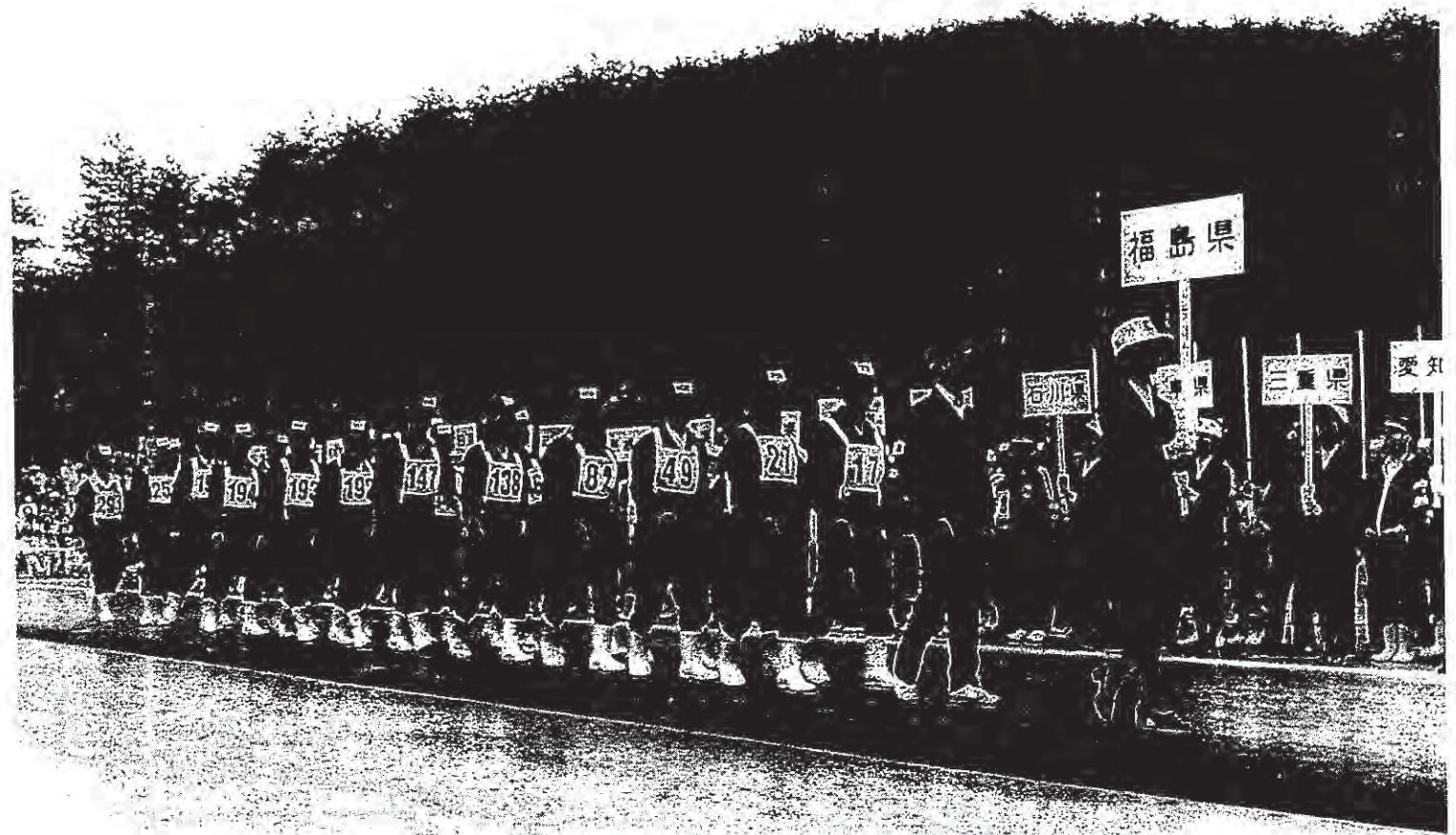
年間平均気温（庄原市と広島市）



資料：広島地方気象台、広島気象年報の値から作成

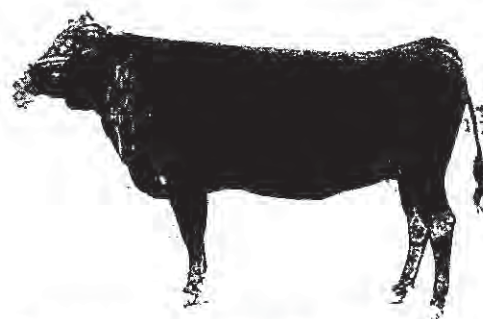
第4回全国和牛能力共進会

1981.11.5～1982.9.20 (本宮会場9.15～9.20)



内閣総理大臣賞

(種牛の部)



1席 ㊦ りきおくの7号 と じ 6 29 38
 2495の7の5 39 2518
 黒原 262622 広島、比婆
 昭54.10.28 (34 月) 奥田 信



㊦ 11 ば ば 号 と じ 6 29 38
 2495の7の5 39 2518
 黒原 206758 広島、比婆
 昭53.11.20 (3 歳) 掛 悦実



㊦ せのばば26号 と じ 6 29 38
 2495の7の5 39 2518
 黒原 190526 広島、比婆
 昭53.7.20 (4 歳) 吉岡 盛三

育種登録群

農林水産大臣賞

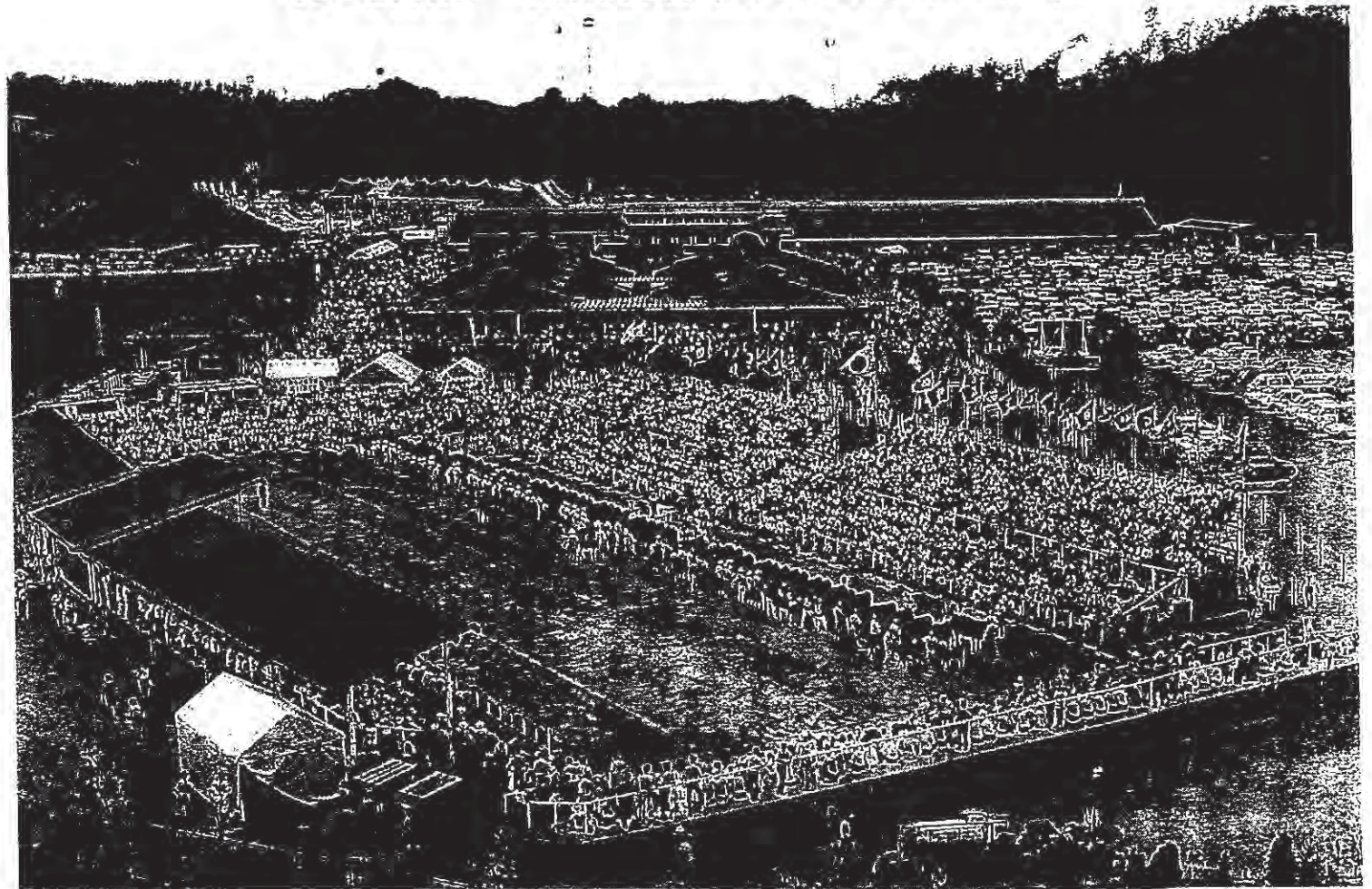
広島県比婆和牛育種組合

●特別賞 斉一性



第5回全国和牛能力共進会

1986.11.5~1987.9.7 (島根会場 9.3~9.7)



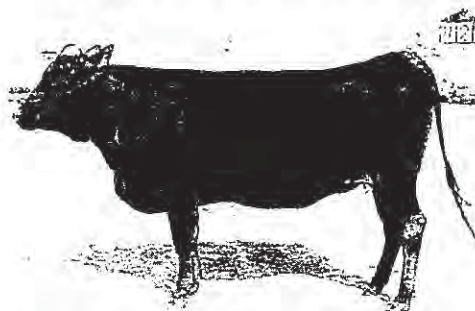
育種登録群

農林水産大臣賞

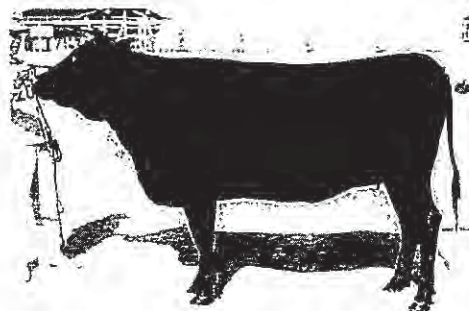
広島県比婆和牛育種組合

内閣総理大臣賞

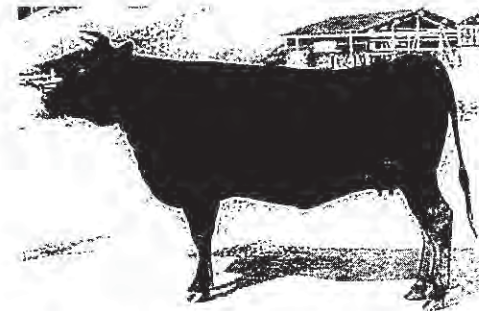
(種牛の部)



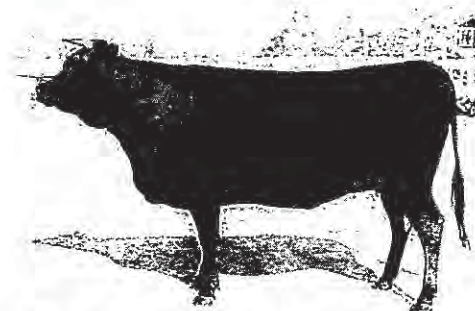
1席 ㊦ しげなが号 本産の10 黒牛 141
しげなが7 黒牛 9013
黒原 481190 広島、比婆
昭59.6.2(3歳)山岡 茂



㊦ やまなか5号 本産の10 黒牛 141
やまぐちの2 黒牛 11070
黒原 473851 広島、比婆
昭59.4.10(3歳)長谷川 進



㊦ 7かわかみ号 本産の10 黒牛 141
ひらたの4 黒牛 3165
黒原 425783 広島、比婆
昭58.4.18(4歳)川上 浩



㊦ 44まえざき号 本産の10 黒牛 141
第5回うきうきねんの部 黒牛 1018
黒原 125777 広島、比婆
昭58.4.18(4歳)小笠原 良致



㊦ せのばば48号 本産の10 黒牛 141
245の1 黒牛 3871
黒原 125778 広島、比婆
昭58.4.15(4歳)瀬野 昭太郎



昭和63年度・第27回

農林水産祭 受賞者の業績

農産・園芸・畜産部門

技術と経営



財団法人 日本農林漁業振興会

畜産部門

天皇杯受賞／比婆和牛育種組合 77

(社)家畜改良事業団調査第二部長／福本 精)

内閣総理大臣賞受賞／宮良 當成 103

(日本大学教授／島津 正)

日本農林漁業振興会会長賞受賞／坂井 敏明 122

(日本大学教授／島津 正)

日本農林漁業振興会会長賞受賞／目ノ越生活改善グループ 138

(財)食料・農業政策研究センター理事長／並木 正吉)

天 皇 杯 受 賞

出 品 財 家畜 (肉用牛)

受 賞 者 比婆和牛育種組合

(代表者 野畑 峰雄)

(広島県庄原市戸郷町 17 の 4)

■受賞者の略歴

(1) 地域の概況

比婆和牛育種組合を構成する庄原市及び比婆郡（5 町）は、広島県の北東部に位置し、総面積（1,176 百 ha）の 85% が山林で占め、耕地は 7.3% に過ぎない。北部は、標高 1,000 m 以上の中国山脈のふもとに高野、口和、比和の 3 町が、中南部の比較的まとまった小盆地に庄原市、西城、東城の 1 市 2 町が位置してい

第 1 図 受賞者の所在地



る（第 1 図、第 1 表）。

気候は、おおむね冷涼で、特に北部地帯は低温多湿で積雪量は 1 m を越えるところが多い。

産業は、庄原市、西城町及び東城町の中心部に形成された商工業の若干の集積がみられるが、全体としては農林業が地域産業の基幹をなしており、稲作、畜産、

「第 38 の 1 岩田」の遺伝子保有確率状況

	平均(%)	最大(%)	最小(%)	頭数
全国(543,213 頭)	0.804	22.04	0.003	110,366
庄原市(1,414 頭)	5.035	21.723	0.013	929

- ・ 全国の 543,213 頭の雌牛の中で、「第 38 の 1 岩田」につながる雌牛は、110,366 頭いる。
- ・ 庄原地区の 1,414 頭の雌牛の中で、「第 38 の 1 岩田」につながる雌牛は、929 頭おり、66%近くの雌牛が「第 38 の 1 岩田」につながる。また、保有率も 5.035%と高く、特徴的な集団であると言える。

全国和牛登録協会より提供